

第2回学校評議員会 会議録

1 日時、出欠等

- (1) 日 時 平成30年2月16日（金）14：00～15：00
(2) 場 所 本校会議室
(3) 出席者 学校評議員：村田里子氏、藤原耕道氏、小向敏夫氏、日當旭氏、下斗米朗子氏
（欠席：藤原耕道氏、小向敏夫氏、日當旭氏）
学校職員：校長、副校長、事務長、総務課、教務課、生徒指導課、進路指導課

2 主な意見

【評議員】

毎年PTA役員会への出席率が問題になっているが、今年度は日曜日開催したことにより、参加者が若干増えたことはよかったと思う。来年度も休日開催を予定し、さらに外部講師を招いての進路講演会を実施することなので、これからも成果が得られる工夫をお願いしたい。

【評議員】

いじめに関して数件の特別指導があったとのことだが、不登校は起きていないのか。

【生徒指導主事】

一つの目安として30日以上欠席となれば不登校と解釈しているが、長期に欠席している生徒もなく今のところ重大事案となるものはない。

【評議員】

こういう場合は、生徒と先生方はこまめに面談等を行っているのか。

【生徒指導主事】

いじめアンケートを元に組織対策委員会で対応を考え、場合によっては周辺から聞き取り調査を行い事実関係がはっきりしてきたところで加害者側の聞き取りを行っている。自分の行動が加害行動になっていることを気づけない生徒が多く、そこを理解させながら進めている。今後の社会生活の中で人間関係をどう構築していくかということに主眼を置いて指導している。

【評議員】

被害に遭った生徒はカウンセラーや専門機関等も利用しているのか。

【生徒指導主事】

ケースバイケースである。専門機関のカウンセラーとコミュニケーションをとったり、中には小・中学校からの関係でカウンセラーとの面談を嫌がる生徒もいる。あとは本校職員で対応可能な先生方で面談を行っている。

【評議員】

先生方も重大案件になってくると共通理解を図るために色々な事案に対する対応の仕方等が必要になってくるものと思われるが、何か取り組んでいるのか。

【生徒指導主事】

校内研修を定期に実施している。カウンセリングに主を置いたものについては教育相談課が中心となって実施している。いじめに関しては、国や県の基本方針を受けて本校でも基本方針を作成し対応している。

【評議員】

退学者が出ていないところから考えても指導が行き届いているのではないかと感じている。

先生方も大変だと思われるが、生徒たちのためによろしくお願ひしたい。

【評議員】

校長先生が作成した「参加型授業通信」は先生方だけに配布しているのか。授業風景や学校での生徒の様子などがわかるので、保護者への配布または地域の広報などにも掲載できないものか。また、ほとんどの高校が入試志願者数の定員割れが見られるので学校の宣伝にもなると思われる。

【校長】

管内の中学校へは校長先生を通じて全部配布している。地域については考えさせていただきたい。あくまで内部向けに作成したものであり、先生方の理解も必要になる。貴重なご意見に感謝したい。

【評議員】

就職者に対する追跡調査も実施していただき感謝している。是非在校生にも情報提供していただき頑張っている先輩の姿や企業についてもアピールしていただきたい。